

私の理念は「絶対自己本位」
自分がやりたいことをして生きる。
大志を抱いて突き進む



こんな人がいたのか埼玉大学…

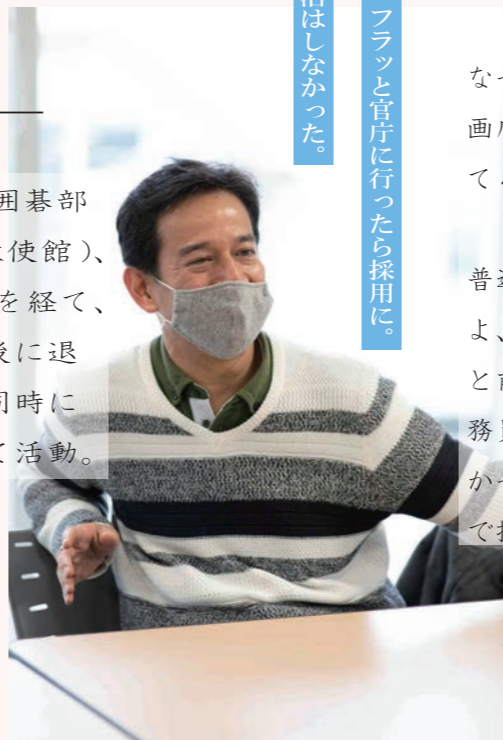
まるで伝説のような人

今号から始まった埼玉大学のOB・OGの方を紹介する Beyond Saitama University。記念すべき最初のインタビューは、埼玉大学経済学部OB会の経和会会長、館 逸志さんです。埼玉大学卒業生の中でも珍しい、官僚という道歩んだ館さんの人生とその考え方を軌跡をたどってに紹介していきます。



Profile

1981年（昭和56）経済学科卒、村川ゼミ、囲碁部
経済企画庁、環境庁、外務省（在タイ日本大使館）、
タイ王国政府、内閣官房・内閣府などの勤務を経て、
国土交通省政策統括官及び内閣審議官を最後に退官。
現在、企業・団体役員などを務めると同時に
コンサルタント（地域活性化伝道師）として活動。
浦和区在住。



就活はしなかった。

フラッと官庁に行ったら採用に。

vol.1

元国家公務員

館 逸志

Tachii Itsushi

Q1

学生時代から国家公務員になるまで
について教えてください。

中学3年生のころ青木先生の西洋経済史っていうのを読みましてね。それにいたく感動しまして、やっぱり科学技術の進歩だけでは社会は幸せにならないと思ったんですよ。だから私は科学技術よりも社会システムを円滑にするような勉強をしたいなと思ったんです。それで文系に進んだはいいものの、英語が嫌いで（笑）試験に落ちてしまって埼玉大学にきました。

埼大経済学部に入学してから、私はもともと学びたかったマルクス経済学をドイツ語の原典で読もうとドイツ語を猛勉強したり、更にはレーニンの著作も読みたいと思って、2年からロシア語も勉強し始めました。

毎日高校の学生服を着て、自転車で行っては、授業に出て、プールで泳いで帰ってきて…
そんな感じの変わった学生でしたね（笑）。

経済書はドイツ語の原典で読んでいた。

高校の学ランで大学に通う！



課外活動は経済学研究会に入っていたけど皆ね、あんまり勉強してなくてね（笑）。私はドイツ語で原典を読んでいるくらいですから、先輩と議論しても全然お話にならないわけですよ（笑）。だからすぐやめちゃいましたね。

なぜ私が経済企画庁に就職したかという、昔ね「経済白書」っていうのを経済企画庁が出してたんですよ。学生の頃それを読んでいて、まあ結構まともなこと言ってるなと思ったので、じゃあこの役所にでも入ろうかなと決めたわけです。

普通だったら就活で官庁を訪問するんですけども、私はあんまりしなかったんですよ、訪問しなきゃいけないなんて知らなかったの。それで他の学生さん達はずっと前に内定をもらっているんだけど、私は全然内定ももらってなかったから、公務員試験の結果が出て合格してからフラッと学生服を着て官庁に行って「ここで働かせてください」ってね、まあ面白い学生だと思ったんじゃないですか（笑）それで採用されたわけです。

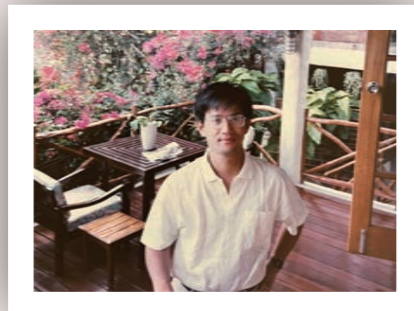


大志のために何が必要か

— 周りは全員東大生 —

就職してからは大変なことがたくさんありましたね。埼大生皆がそうではないでしょうけども私みたいに埼玉で生まれて自転車で通っているような学生は東京なんて行ったことなかったからわからなかったんです。実社会のことが。私の周り仕事仲間はだいたい東大生とか東京の人たちですね、彼らはやはり世の中をよく知ってたんですね。その、役所とはどういうところだとか、政治はなんだとか。私は全くそういうことについて感覚がなかった。やはりそういうことを知らないとかダメだなと反省したんですよ。

それで経済企画は近代経済学と英語ができないと話にならないと知ってね。私はそれらは全然できなかつたんで、これはダメだと思って、仕事しながら、英会話学校に通い出しました。その教室も他の学生はすごくできるのに私だけできなくてね。英語の先生に「お前はもういい、出ていけ」と言われるくらいできなくてね(笑)。悔しい思いをしました。



▲ 館さん外務省時代のお写真
— タイ元副首相ご夫妻の自宅にて —

それでこんちくしょう！と思って、ソニーの英会話スクールに通って猛勉強したら6人の同期のうち1番にはなれなかったんですけど、2番目になったんですね。そしたら1人しか留学できないんだけど、成績は1番ではなかったけど成長率は1番になったから、イギリスの奨学金制度を紹介してくれて、そこの試験を受けて受かったら行ってもいいよと。それで85年に試験に受かって86年にイギリスに留学したんです。

そこで出会った中国の留学生から刺激を受けて、やはり中国はこれから成長していくと確信しました。アメリカと中国の間に挟まれた日本がこれから発展していくには、東南アジアと仲良くしていく必要があると思ったんですね。それから、東南アジアでの仕事を中心に頑張りましたね。

Q2

就職してからはどんな人生を歩んでこられたのですか？



— 自分のやりたいことをやっていく —

ただそれだけ。

是非ね、在学中に自分がやりたいことを見つけて、あまり細かく制約を設けずに、自分のやりたいことを、大志を抱いて突き進んでやってほしいなど。それだけですよ。

だから何をやりたいかっていうこと…じゃないですかね。やりたいことがあれば、それに向かって何をすべきなのか明確にわかりますから。別に飢え死にするわけじゃないんでね(笑)。とにかくやってみればいいんですよ。自分が好きなことをやりたいようにやる。そうすれば、自然と成るものだと思いますよ。

埼玉大学の生徒はね、真面目で素質のある人が多いと思いますけどね、私自身そうでしたが、東大とか慶応とかと比べてやはり実社会のことをなかなか知る機会が無いんですね。東京の大学はOB・OGとのつながりが強いんでね。だからぜひね経和会を通してつながりを深めてほしいですね。

Q3

埼玉大学生に向けてメッセージをお願いします。

埼玉大学への恩返し

埼玉大学経済学部の同窓会、経和会の総会・交流会に参加して、頼れる先輩方に就職相談、人生相談してみませんか？ 館会長をはじめとした、実社会をよく知る先輩方とごはんを食べながら、将来の夢や、就職について気軽に相談できるチャンスです！

そして学生はなんと参加費無料！ 昨年も総勢80名以上も参加しています。館会長とお話してみたいという方や、さまざまな業界に携わる先輩方のお話を聞いてみたい学生さんなど、気になる方はぜひ6月に経和会のHPをチェックしてみてくださいね！

令和5年度 定期総会・交流会
2023年 7月 1日(土) 14:00～
参加費(学生) 無料



← 経和会 HP はこちらから
<http://eco.alumni.saitama-u.ac.jp/index.html>